

成長:価値観の一つ、人生における神の計画(デザイン)

マーク・ラッター

神は福音による贖い、回復、変容を計画なさいました。その計画の中心部分は人間の成長です。1951年にキャンパス・クルセード・フォー・クライストが設立されて以来、私たちは福音の拡大と霊的な成長に力を注いできました。成長は「救霊・育成・派遣」の「育成」段階に関するものです。また成長は「信仰」「豊かな実」と並んで、私たちの中核となる価値観の一つです。しかし、私たちはどのように成長を測ればよいのでしょうか？

まず第一に、神は私たちが成長することを確かに期待し、必要な材料を提供しておられます。問題は、神がどのように成長を設計されたかを私たちが誤解し、神の贖いの役割とその過程における私たちの応答を混同するときに起こります。なぜでしょうか？おそらく、その方が簡単だからでしょう。霊的なプログラムを推し進める方が、真の人生の変化を測定するよりも簡単だからです。

第二に、成長は「点から点」思考に還元される可能性があります。成長は「点」(プログラム)ではなく、「点」と「点」の間に起こります。ただ立て続けにミニストリーの輪をくぐり抜けるだけでは成長は起こりません。成長とは、真の意味で内なる人生の変化を伴うものなのです。霊的かつ情緒面での成長はミニストリープログラムの中で生じますが、必ずしもプログラムによって引き起こされるわけではありません。

一見成熟しているように見えるリーダーも、どうして深みにはまってしまっているのでしょうか？リーダーの持つ霊的真理を理解する能力と、それを実践する能力は必ずしも一致しません。私たちはプログラムを通じて木を植え、水を与えますが、成長させるのは神なのです。

では、私たちの成長に対する神の計画とは何でしょうか？私たちは、そして私たちが導く人々は、どのように成長し、神の変容を経験することができるのでしょうか。

神の肖像

私たちの成長は、神の物語という大きな絵の中に位置づけられなければなりません。神は回復のビジネスを行っているのです！神は失われた人々と失われた人生を回復しておられます。あなたもその中に含まれています。成長するため、私たちはまず神との生活がどのようにデザインされていたのか、そして罪がその関係をどのように破壊したのか、そしてその関係が贖いによってどのように回復されるのかを理解しなければなりません。私たちの物語がどこに位置付けられるのかを知るために、私たちは神の物語を知る必要があります。

パウロは2コリント5:18-19で「これらのことはすべて、神から出ています。神は、キリストによって私たちをご自分と和解させ、また、和解の務めを私たちに与えてくださいました。すなわち、神はキリストにあって、この世をご自分と和解させ、背きの責任を人々に負わせず、和解のことばを私たちに委ねられました。¹」と述べています。神がすべてのものをあるべき姿に回復(「和解・一致」)させようとしておられること、それが福音と成長の中心部分なのです。

ヘンリー・クラウド博士とジョン・タウンゼント博士は、『How People Grow(人はいかにして成長するか)』の中で、霊的成長の本質は神が創られた人生に人が立ち戻ることである、と

¹ 以下、引用聖句はすべて「聖書 新改訳2017 ©2017 新日本聖書刊行会」

述べています²。神が人のために創られた人生とは何でしょうか。創世記の物語は、神が私たちの創造主であることを明らかにしています。神は生命の源であり、良いものを与えてくださる方です。第二に、神は私たちを神ご自身と、そして人間同士が互いに関係を持つようにお造りになりました。私たちは一人でいるべきではありませんでした。第三に、神は人がご自身に服従するよう創造されました。人がいのちを体験するためです。第四に、神の役割と人の役割は、創造の秩序において別個のものであるということです。

当初、これらの役割に混乱はありませんでした。神の役割は私たちの源、また供給者であることです。私たちは神に依存する存在でした。創造主である神は支配者であり、私たちは神の支配に自らを委ね、また自らを支配すべき存在でした。神は人生の審判者であり、私たちはそのいのち、親密さ、関係を経験することになるのです。つまり、神がルールを作り現実を設計され、私たちはそれに従い、その現実の中で生きる存在でした。

私たちは、この美しい肖像画の中で生きるように創られたのです。しかし、人間の墮落により、神の創造された秩序が逆転してしまったのです。創世記3章は、人間がいのちの源から独立し、神との関係、そして他の人々との関係を失い、墮落したことを明らかにしています。神の設計を横取りして自分の主となろうとしたのです。

つまり、人間は役割を逆転させてしまい、その結果を刈り取っているのです。第一に、私たちは自分自身の源になろうとする傾向があります。その傾向が自分自身への依存をもたらし、その結果私たちは飢えと空しさを覚えるようになりました。そして欲望と偶像崇拜に走るのです。第二に、私たちの支配欲は、私たちの世界とお互いを支配しようとするようになりました。私たちは自分自身へのコントロールを失い、世界や互いの関係をコントロールしようとします。第三に、私たちは自分が人生の審判者でありたいという願望を持ち、その結果他人と自分自身を裁くようになっていきます。第四に、私たちは神でありたいという願望から自分自身のルールと現実を作り出してしまったのです。

このように人生は失われました。しかし、神はそのような状態にとどまることをお許しになりました。キリストにおいて、神はすべてのものを本来あるべき姿に「和解」させているのです。贖いにおいて、人間はいのちの源である主イエスによって神のもとに戻されます。人は神との関係、そして互いとの関係に戻されるのです。最後に、私たちの役割は主イエスの主権の下で本来あるべき姿に回復されます。

キリストによる贖いの結果、心が成長し人生が贖われるのです。まず、私たちは神に対して自立した姿勢を捨て、神に依存するようになります。第二に、私たちは物事を支配しようとするをやめ、神の支配と主権にゆだね、信頼し安住します。第三に、私たちは他者や自分自身に対して審判を下す役割を放棄し、代わりに恵みを受け、恵みを与えるようになります。最後に、私たちは自分のやり方で人生を設計し直すことをやめ、神が私たちに設計された人生を生きることに戻るのです。

成長とは本質的に、この贖いと回復の人生においてイエスに従うことであり、また他の人々がその道を歩むのを助けることなのです。それは、神がデザインされた人生を生きることであり、それによって神が栄光を受け、私たちは神の中で満足するのです。

² ヘンリー・クラウド、ジョン・タウンゼント、How People Grow (Grand Rapids: Zondervan, 2001), 28.

恵み、真理、時間

それでは、成長のために必要な要素は何でしょうか。ヘンリー・クラウドは別の著書、「Changes That Heal(いやしをもたらす変化)」(Zondervan, 1992)の中で、真の霊的成長と心の健康に役立つ3つの要素について概説しています。心の健康と成長に共通する要素は、「恵み」「真理」「時間」です。真の変化、真の成長は真理と恵みという文脈の中でのみ生じます。クラウド博士は「恵みとは、神の民に対する無償の好意です。無条件の愛であり受け入れです。私たちは恵みを自らの手で獲得できませんし、恵みに値しない存在なのです。」「真理とは本来の姿です。物事が本当はどうあるのかを表しています。」私たちはイエス・キリストの恵みと真理によって変えられます。イエスは「恵みと真理³」に満ちていると表現されています(ヨハネ1:14、17)。

イエス・キリストは恵みと真理の両方によって、出会った人々の心を動かし変えました。イエスは繰り返し「まことにあなたがたに告げます。真理を告げます……」という前置きから発言をなさいました。人々は真理によって、つまり恵みと結びついた真実によって変えられるのです。

38年間病人であった人を癒した時(ヨハネ5章)、イエス様は彼を癒し(恵み)、そして同時に「もう罪を犯してはなりません」(真理)と言われました。ペテロが自分の忠誠を軽率に宣言したとき、イエスはすぐにペテロに真理を告げたのです:「まことに、あなたに言います。あなたは今夜、鶏が鳴く前に三度わたしを知らないと言います⁴。しかし、...あなたは立ち直ったら、兄弟たちを力づけてやりなさい⁵」(恵み)。

私たちはどのように成長するのでしょうか。パウロはエペソの手紙4:15、16でこう言っています:

「むしろ、愛をもって真理を語り、あらゆる点において、かしらであるキリストに向かって成長するのです。キリストによって、からだ全体は、あらゆる節々を支えとして組み合わされ、つながり合わされ、それぞれの部分がその分に応じて働くことにより成長して、愛のうちに建てられることになります。」

恵みなき真実、あるいは愛によって和らげられることのない真実は、裁きです。恵みがなければ、私たちは霊性に対するアプローチにおいて、パリサイ的な存在になってしまいます。恵みのないルールは形式だけの遵守と非難につながります。真理のない恵みは、簡単に放縱につながります。そこには変化もなく、制限もなく、結果もないのです。クラウド博士はこう書いています:「恵みと真理は、癒しをもたらす組み合わせです。なぜなら、この組み合わせは成長を妨げる主な障壁である罪悪感を直接扱うからです。私たちが感情的な難しさを体験するのは、傷つけられたか(誰かが私たちに対して罪を犯した)、反抗しているか(私たちが罪を犯した)、あるいはその両方が起きたからなのです。」キリストのからだのメンバーが成長のプロセスに役立っていることに注目して下さい。キリストのからだは成長の道具なのです。孤立しては成長はあり得ません。

3つ目の要素は時間です。成長には必ず時間がかかります。時間そのものが成長をもたらすことはありませんが、時間がなければ成長は不可能です。実を結ばないいちじくの木のとえ(ルカ13:6-9)は、時間と共にインプット(恵みと真理)の重要性を示しています。クラウド博士は「良い時」と「悪い時」の違いを説明しています。「良い時間とは、私たちと私たちの経験が、恵みと真理の影響を受けることができる時です。自分自身のある側面を時間か

³ 新改訳聖書は「まこと」

⁴ マタイ26:34

⁵ ルカ22:32

ら切り離してしまったら、時間と恵みと真理の影響を受けることができません。言い換えれば、私たちの人生の中で、光に照らされていない領域はいくら時間をかけても変容させることはできないのです。それはタラントが地に埋もれていて変わらない状態と同じです(マタイ 25:26,27)。

完璧ではなく成長

神の計画は私たちの成長です。神は完璧を求めるのではなく(キリストは私たちの代わりに完璧な生き方をされた)、私たちがキリストにあって成熟し、成長することを願っておられます。神は、私たちが神の輝きを映し出すことを望んでおられるのです。

私たちが進むべき道は明確です: 神の物語と計画(デザイン)を忘れないでください。神は回復の仕事をしておられるのです。私たちはいのちの源、私たちの擁護者、そして私たちの主権者である主に応え、服従するのです。

あなたの人生にいのちをもたらす材料である、恵みと真理を与えてくださるよう神をお招きしましょう。キリストのからだにおいて他の人とつながりましょう。互いに恵みと真理をもって仕え合うのです。そして、主が時間とともにどのように変化と成長をもたらしてくださるかを見てください。何とすばらしい計画でしょうか。私たちには、偉大な神と恵み深い救い主がおられるのです。